

12

赤ちゃんについて (아기에 대해서)



Q: 赤ちゃんの体重がへるのは大丈夫?

A: 生後3~4日めまでの赤ちゃんは、おしっこ(尿)やうんち(便)を出すのに比べて、飲む量が追いつかないために、体重がへっていきます。生まれたときの体重の10%以内のへり方であれば問題ありません。1週間~10日間後には、生まれたときの体重にもどっていきます。

Q: 赤ちゃんの体が黄色なのは大丈夫?

A: 黄疸(皮ふが黄色になること)は、どの赤ちゃんにもあります。生後3~4日めごろから、顔や白目が黄色くなりますが、1週間~10日めごろには、なくなっていきます。黄疸の原因は体の中のビリルビンという黄色い物質によるものです。赤ちゃんの体の中では、赤血球のヘモグロビンがお腹の中にいた胎児期のものから大人のものにかわるため、たくさんの赤血球がこわれます。赤血球がこわれてビリルビンができるのですが、このビリルビンによって、皮ふなどが黄色に染まることを黄疸といいます。通常、ビリルビンは便として体の外にでていくものですが、赤ちゃんの場合は、体のはらたきが大人とくらべてまだ未熟で、ビリルビンを処理し便として外にだすはたらきも弱いため、このような症状がおこります。ビリルビンの値は血液検査でわかりますが、基本的には元気がよく泣いて、よくのめていれば問題ありません。黄疸が強いときは、「光線療法」という赤ちゃんに光をあてる治療をすることがあります。また、母乳をのんでいる赤ちゃんは黄疸が長くなることもあります。元気があってよくのめていれば心配ありません。



Q: 赤ちゃんの体重が増えても大丈夫?

A: 生後3~4日めまで赤ちゃんは、おしっこ(尿)やうんち(便)を出すのに比べて、飲む量が追いつかないために、体重がへっていきます。生まれたときの体重の10%以内のへり方であれば問題ありません。1週間~10日間後には、生まれたときの体重にもどっていきます。

Q: 赤ちゃんの体が黄色なのは大丈夫?

A: 黄疸(皮ふが黄色になること)は、どの赤ちゃんにもあります。生後3~4日めごろから、顔や白目が黄色くなりますが、1週間~10日めごろには、なくなっていきます。黄疸の原因は体の中のビリルビンという黄色い物質によるものです。赤ちゃんの体の中では、赤血球のヘモグロビンがお腹の中にいた胎児期のものから大人のものにかわるため、たくさんの赤血球がこわれます。赤血球がこわれてビリルビンができるのですが、このビリルビンによって、皮ふなどが黄色に染まることを黄疸といいます。通常、ビリルビンは便として体の外にでていくものですが、赤ちゃんの場合は、体のはらたきが大人とくらべてまだ未熟で、ビリルビンを処理し便として外にだすはたらきも弱いため、このような症状がおこります。ビリルビンの値は血液検査でわかりますが、基本的には元気がよく泣いて、よくのめていれば問題ありません。黄疸が強いときは、「光線療法」という赤ちゃんに光をあてる治療をすることがあります。また、母乳をのんでいる赤ちゃんは黄疸が長くなることもあります。元気があってよくのめていれば心配ありません。

A: 黄疸(피부가 노랗게 되는 것)은 어느 아기에게도 생깁니다. 생후 3~4 일째부터 얼굴과 눈 흰자위가 노랗게 변하지만 1주일~10 일 사이 쯤에 사라집니다. 황달의 원인은 몸 안의 빌리루빈이라는 황색 물질 때문입니다. 아기 몸 안에는 적혈구의 헤모글로빈이 뱃속에 있었을 때의 태아형에서 성인형으로 바뀌면서 적혈구가 파괴됩니다. 적혈구가 파괴되면서 빌리루빈이 만들어 지고 빌리루빈 때문에 피부 등이 노랗게 변하는 것을 황달이라고 합니다. 보통 빌리루빈은 변으로 몸 밖으로 배출되지만 아기는 대사 능력이 성인과 비교했을 때 미숙하고, 빌리루빈을 처리하고 변으로 내보내는 것도 약하기 때문에 이러한 증상이 나타납니다. 빌리루빈의 수치는 혈액 검사로 알 수 있지만 기본적으로 건강하게 잘 울고, 잘 먹는다면 문제없습니다. 황달이 심할 경우는 "광선요법"이라 하는 아기에게 빛을 쬐게 하는 치료가 있습니다. 또한 모유를 먹는 아기는 황달이 오래가는 경우가 있지만 건강하고 잘 먹는다면 걱정할 필요는 없습니다.



Q: どうして K2 シロップをのむの?

A: 生まれてすぐの赤ちゃんは、ビタミン K がたりないことがあります。ビタミン K がたりないと、血液をかたまりさせるはたらきが悪くなり、脳や消化管などで出血しやすくなります。これを予防するために、入院中(生まれたあと授乳を開始してすぐと、退院のとき)と生後1ヶ月ごろにビタミン K2 のシロップをのませます。



Q: どうしてかかとから血をとるの?

A: 先天性代謝異常症をはやくみつけるための血液検査で、これはすべての赤ちゃんに生後4日めに行います。検査の方法は、入院中に赤ちゃんの「かかと」から少しだけ血液をとります。結果は、検査をしたところから郵送で送られてきます。



Q: 赤ちゃんの検査はいつですか?

A: 1ヶ月健診は赤ちゃんが生まれた病院でうけてください。そのあとも、発育・発達の確認と異常をはやくみつけるために、生後3ヶ月ごろ、6ヶ月ごろ、9ヶ月ごろ、1歳ごろの定期健診をうけましょう。健診は、市や区の保健センター(無料なことが多い)や、かかりつけの病院でうけることができます。出生届をだしてれば、役所から郵送で連絡がきます。

Q: 왜 K2 시럽을 마시나요?

A: 태어난 직후 아기는 비타민 K 가 부족할 수 있습니다. 비타민 K 가 부족하게 되면 혈액을 응고시키는 작용이 나빠져 뇌와 소화기관 등에 출혈이 발생하기 쉽습니다. 이것을 예방하기 위해서는 입원중(태어난 후 수유를 시작하고 바로, 퇴원할 때)과 생후 한 달 경에 비타민 K2 시럽을 먹입니다.

Q: 왜 발뒤꿈치에서 채혈을 하나?

A: 선천성대사이상을 빨리 발견하기 위한 혈액검사로 생후 4 일째 되는 모든 아기들이 받는 검사입니다. 검사 방법은 입원 중에 아기의 발뒤꿈치에서 소량의 혈액을 뽑습니다. 검사 결과는 검사를 한 곳에서 우편으로 보냅니다.

Q: 아기의 검사는 언제입니까?

A: 1 개월 검진은 아기가 태어난 병원에서 받으세요. 그 후에도 발육·발달 확인과 이상을 빨리 발견하기 위해 생후 3 개월 경, 6 개월 경, 9 개월 경, 1 살 경에 정기적으로 검진받도록 합니다. 검진은 시나 구의 보건 센터(무료인 곳이 많음), 자주 가는 병원에서 받을 수 있습니다. 출생 신고서를 제출하고 나면 관공서에서 우편으로 연락이 옵니다.